

南阿蘇村議会だより

すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和2年
5月1日発行

Vol.49

3月定例会

- | | |
|--------------------|--------|
| ② 「統合小学校、改修予算可決」 | 第1回定例会 |
| ④ 「付託された議案を集中審議」 | 常任委員会 |
| ⑧ 「ずばり村政を問う」 | 一般質問 |
| ⑫ 「白水地区統合小学校の進捗は？」 | 追跡レポート |

卒園おめでとう
ナイスポーズ!
(くぎの保育園)



人権啓発標語：「なにげない一言で傷つく人がある 考えてみよう言っているいいことわるいこと」

南阿蘇中学校3年 古澤 伶佳さん

白水地区統合小学校

■一般会計当初予算 144億7687万円

【令和2年第1回定例会】

3月定例会は3月6日から3月13日までの8日間の日程で開催され、令和2年度一般会計当初予算、令和元年度補正予算等（予算17、条例18、人事2、その他17）と議員発議1件など54議案を原案通り可決。

人事では、教育長に松野孝雄氏の再任、教育委員会委員に大津昭一氏の任命案を同意した。

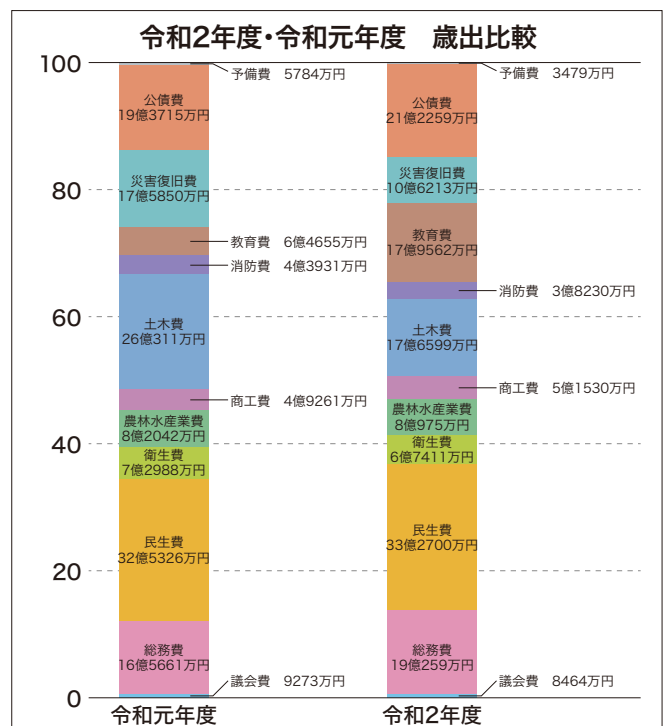
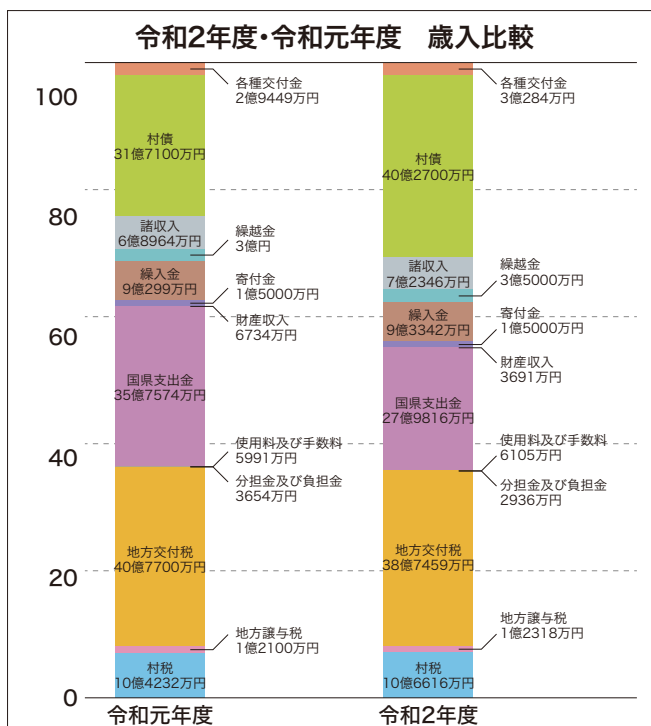
2年度当初予算は、3常任委員会に付託され審議可決された。（P4～6に詳細）

審議経過と結果について最終日、各委員長より報告があった。一般質問には4名が登壇し（P8～11）行政の諸問題について質問した。

【令和2年度一般会計当初予算】

主な事業

- 阿蘇パノラマテラス設計業務委託費 …… 1400万円
- 長陽保健センター改修工事費 …… 4468万円
- 震災遺構としての旧長陽西部小校舎改修・一部解体工事費 …… 1億819万円
- 「あそ望の郷くぎの」機能拡張関連工事費 …… 1億3411万円
- 白水統合小学校関連工事費（P12に詳細） …… 10億2722万円
- 旧久木野庁舎利活用事業改修費 …… 3億4489万円
- 小規模住宅地区等改良事業費 …… 7億8424万円



改修予算可決

校舎改修費を含め総額で10億2722万円



「あそ望の郷くぎの」機能拡張 第1期のイメージ図



白水地区小学校統合のため、改修が始まる旧白水中学校



小規模住宅地区等改良事業（立野地区）



阿蘇パノラマテラス予定地からの眺め

賛否が分かれた令和元年度補正予算・令和2年度当初予算

反対討論

太田議員

議案第23号 令和元年度南阿蘇村一般会計補正予算（第8号）

木の香温泉再建工事費を減額したが、持続可能な運営を行う意識が低いのではないかと。6月定例会において6億円で議会承認させながら応札不調。年度末の今になって、単純な半額への減額。積算根拠も乏しく本気度が全く感じられない。

反対討論

太田議員

議案第31号 令和2年度南阿蘇村一般会計予算

震災から丸4年になり災害復旧事業のピークは過ぎ、令和2年度は約7億円、土木費も約8億4000万円減額となった。しかし予算は前年度から2000万円程度しか減らせていない。膨らみ過ぎた予算をソフトランディングさせ、持続可能な財政に道筋をつけるのが村長の責務。地方交付税をはじめ、国や県からの依存財源は年々減少傾向にある中、基金の切り崩しと起債で歳入を埋める自転車操業には賛同できない。

審議の結果、2議案とも賛成多数（反対1）で原案可決

【第1回臨時会 2月21日】

議案	審議内容
承認第1号	南阿蘇村一般会計補正予算（第6号）の承認について
議案第1号	南阿蘇村一般会計補正予算（第7号）の議決について
議案第2号～第4号	工事請負契約の変更（久木野1工事 / 長野・河陽1工事 / 立野6工事）

審議の結果、全会一致で原案可決

総務 常任委員会

3月10日

【委員会メンバー】 太田吉浩委員長、丸野健一郎副委員長、
山室昭憲委員、今村輝宏委員、（荒牧議長も出席）
【所 管 課】 総務課、議会事務局、政策企画課、復興推進課、
産業観光課、税務課、会計課

委員会での主な審議内容

地方債の推移は

〈山室委員〉

震災前の起債残高は110億程度だったが、災害復旧を含めずに起債が50～60億も増えた。予算規模も未だ倍以上を計上しているが、財政は大丈夫か。

〈総務課長補佐〉

大変厳しい。

旧立野小風力発電の収支は

〈丸野副委員長〉

旧立野小の風力発電は売電収入が48万円あるが、全量売電なのか。

〈政策企画課長補佐〉

現時点では、全量売電している。将来的には蓄電も検討したい。保守管理業務委託に年間20万円。



長陽保健センター改修は

〈丸野副委員長〉

長陽保健センターの改修内容は。先日説明を受けた専門学校関連か。

〈復興推進課主幹〉

下野山田の応急仮設住宅を2棟4戸移築し、教室として使用する。

乗り合いタクシーの収支は

〈荒牧議長〉

運賃収入は180万円、何名ぐらい利用者がいるのか。

〈産業観光課長〉

運賃は1ルート片道300円×月450名×12カ月で試算した。

〈荒牧議長〉

運行経費が2600万円掛かっている。月450名の利用者数はどうなのか。

〈産業観光課長〉

実証実験当初から3倍の利用者数。来年度は5年に一度のシステム更新費用が大きかった。今後は名称変更も含め、改善を図り、利用者数を増やしたい。

みなみあそ観光局への補助金は

〈太田委員長〉

観光局への補助金は、また自主財源はあるのか。

〈産業観光課長〉

自主財源はない。現在、熊本DMCに委託している「ふるさと納税の事務費」の観光局移行を検討中。

〈太田委員長〉

観光局に関するお金の流れが分かりづらいので、改めて詳細な説明を。

その他の質問や説明

〈政策企画課〉

- ・みなし過疎の要件と今後の動向
- ・グリーンピア南阿蘇、譲渡交渉の進捗

〈太田委員長〉

- ・長陽保健センターに入る計画の専門学校、地元説明会と申請の状況は
- ・あそ望の郷、施設改修工事の内容は
- ・3セクの随契延長10年その根拠は



あそ望の郷東側拡張予定地

〈山室委員〉

- ・あそ望の郷拡張計画、用地取得交渉の進捗は
- ・地域おこし協力隊の活動費、その内容と財源は
- ・村内観光施設の多言語翻訳機、設置状況は
- ・3セクの指定管理料、各施設の配分は再考を

〈今村委員〉

- ・高野台防災公園、備蓄内容は
- ・中小企業利子補給の利用状況は

委員長報告

（委員長以外の委員による）表決の結果、全員賛成で、当委員会に付託された予算案等は、原案通り可決すべきと決定した。

委員会での主な審議内容

旧久木野庁舎活用後の維持管理は 〈太田委員〉

改修工事だが、財源の内訳は。また、3階部分の子育て支援スペースの維持管理費は。

〈次世代定住課係長〉

過疎交付金2500万円を申請している。財政とも相談して合併特例債を充てる。

〈次世代定住課長〉

長陽保健センターの『わくわくひろば』を移す予定。年間500万円弱かかっている。民間委託も視野に入れ、住民福祉課と話したい。金額削減など今から詰めていく。

移住定住促進住宅はどこに

〈工藤副委員長〉

村有地の宅地として利用できる場所は何箇所あるのか。

〈次世代定住課長〉

候補地は、ちょうよう保育園下の駐車場（下写真）、のぎく館、ウイナス北側を計画したい。



地域おこし協力隊の追加募集は

〈太田委員〉

隊員の仕事が当初の目的から外れていないか。受け入れる側でもう少し精査したうえで追加募集をしては。

〈次世代定住課長〉

審査する組織を4月から立ち上げ、副村長、総務課長、次世代定住課長で審査する。概ね20人ということで当面管理していく。

図書室の維持管理は

〈太田委員〉

以前の委員会説明で、ランニングコストは2500万円かかる話だった。現時点で変更や増額はあるのか。

〈教育委員会事務局長〉

検索システムと電子図書等を入れずに年間2500万円。

今回は施設のランニングコストが入っていない。令和3年度から管理費が発生する。

公民館のエアコン設置とは

〈栃原委員〉

エアコンの大きさは建物の広さで違う。1基の補助は。

〈教育委員会事務局長〉

現在、公民館6件の申請がある。熱中症対策なので平米数から換算した金額を計上した。まだ事前調査なので、実施になれば改めて申請の内容等を示していく。

小学校統合の校舎改修費精査は

〈太田委員〉

改修費の金額が高いが、執行部で十分精査してこれ以上上げられないということか。また体育館等にもエアコンが必要になるのでは。

〈教育委員会事務局長〉

旧白水中学校は築42年の校舎なので相当傷んでいる。使える部分は使う。体育館のエアコンは、南阿蘇中体育館に防災事業で設置する。

その他の質問

〈橋本委員長〉

- ・指定文化財保護補助は
- ・シルバー人材センターは

〈栃原委員〉

- ・久木野キャンプ場の委託管理者は
- ・久木野地区水道一元化進捗は
- ・中学校エレベーターの工事費は
- ・通学路危険ブロック塀対策事業は

〈荒牧委員〉

- ・国道325号線の水道管整備は早急に

〈太田委員〉

- ・次回復興マラソンの内容は
- ・世帯分離の現状は
- ・はくすい保育園、進入路を拡張しては
- ・久木野学童の移転先は

委員長報告

（委員長以外の委員による）表決の結果、賛成多数（反対1）で、当委員会に付託された予算案等は、原案通り可決すべきと決定した。

委員会での主な審議内容

山王谷川に架かる橋の復旧状況は

〈笠野副委員長〉

山王谷川流域の農地復旧工事地域内に、以前は沈み橋になっていた所に橋を架ける予定があるのか。また道路は農道なのか村道か。

〈建設課主幹〉

付け替える。村道柏木・今市線の橋、県が護岸整備を行うので、その高さに合わせた橋を村で施工する。現在、工事は既に発注済みであり、着手はしていないが契約は済んでいる。

野焼きの再開に向けて、火入れ作業道の復旧は

〈後藤委員〉

火入れ作業道の復旧工事が予算化されている。国の事業に該当せず、村単独事業で実施するところがまだあるのでは。野焼きの再開にどう対応するのか。

〈農政課長〉

各牧野組合長に火入れ作業道の未復旧場所の調査を依頼する。

農地災害復旧、立野地区用水路の復旧状況は

〈笠野副委員長〉

立野地区、新所地区農業用水路の復旧進捗率は。

〈農政課主幹〉

県工事ほか2件の工事が残っている。今のところ支線の通水テストができない、水が流せない状況。

〈笠野副委員長〉

今年から作付け可能か。地元地区への説明は。

〈農政課長〉

一部が再開できて、一部が再開できないというのは不公平であり、判断がなかなかできない状況。作付けは厳しいのではないかと方向である。



補修後、通水が待たれる立野水路

火山灰対策事業は使えないのか

〈笠野副委員長〉

そば乾燥施設の雑種子と火山灰等を除去する粗選機の追加工事で火山灰降灰対策の事業は使えないのか。

〈農政課長〉

国補助は被覆資材の方針であり、他の補助はない。降灰状況の写真を提示し要望していく。

農地集約協力金の状況は

〈後藤委員〉

農地集積協力金、昨年の実績は。

〈農政課長〉

昨年の実績は田で17ha・畑で1ha、本年度は予算が足りなかったため、補正を組んで対応した。

ワイン用ぶどう栽培、その後は

〈今村委員〉

昨年より作付けが実施されたワイン用ぶどう栽培、長期のプロジェクト事業であるが順調な経緯で進んでいるのか。

〈農政課長〉

元年度にぶどう棚の設置まで終わっている。剪定作業を含め順調に進んでいる。今年1月の強風で被覆ビニールが破れたので、材料費・修繕費を計上している。



剪定を終えた2年目のぶどう

その他の質問

〈今村委員〉

- ・両併西部地区基盤整備負担金（村立替）とは

委員長報告

（委員長以外の委員による）表決の結果、全員賛成で、当委員会に付託された予算案等は、原案通り可決すべきと決定した。

令和元年度 一般会計補正予算

木の香湯再建は

〈栃原議員〉

木の香湯温泉、工事請負費の減額理由と今後は。

〈産業観光課長〉

本体施設を大幅に縮小し、総事業費を3億円程度に。令和2年度に繰り越し、残る2億8362万円を今回減額する。井戸更生工事は完了し、くみ上げ温度は48.1度。この温度で設備設計に着手する。

令和2年度 一般会計予算(当初)

あそ望の郷、拡張工事内容は

〈笠野議員〉

令和2年度に1億950万円が計上されているが、工事内容は。

〈産業観光課長〉

機能拡張3期工事の1期目に着手。全体を3区に分け、令和2年度は南側・県道下を整備。内容は、橋梁工事9000万円（車道橋6850万円+人道橋2150万円）、仮橋が600万円、駐車場整備造成に1350万円。

小・中学校内のネット環境は

〈桐原議員〉

小中学校・無線Wi-Fi整備委託料、5000万円とは。

〈教育委員会事務局長〉

令和2年度に全小中学校のWi-Fi環境整備し、令和3年度以降にタブレット導入を計画している。



指定管理者、10年指定は

〈山室議員〉

村内施設の指定管理は、公募なしで3セクに10年契約になるが、その条件は。

〈産業観光課長〉

現有12施設を現行のまま管理し、雇用等も継続。民間会社としてのノウハウで、安定的・効率的なサービス提供を行うこと。

〈山室議員〉

指定管理料は1年上限6400万円で10年契約になる。不測の事態が発生した場合、増額や減額は可能なのか。慎重な運用を。

〈総務課長補佐〉

天変地異やそれなりの条件変更があれば、途中での見直しは可能だ。

その他の質問

〈丸野議員〉

- ・担い手確保経営強化支援補助金の内容は
- ・バスだけでなく、復旧後は南鉄も通学手段に

〈工藤議員〉

- ・防災無線の移転先は、放送の在り方検討を
- ・議員年金保険金負担金とは

〈笠野議員〉

- ・旧長陽西部小学校、校舎改修工事の内容は
- ・情報システム、光ブロードバンドの活用は
- ・久木野の歴史資料館、解体後の展示品は

〈桐原議員〉

- ・村ホームページ、システム更新の内容は
- ・村ホームページで条例検索、早期実現を

〈今村竜喜議員〉

- ・長陽パークゴルフ場、管理事務所の早期完成を。
- ・高野台防災公園の備蓄内容は
- ・旧湯の里荘、砂防工事後に備蓄倉庫活用を

〈橋本議員〉

- ・東海大との交流協議会、早期再開を
- ・休校中の子供たち、運動場の開放を
- ・義援金を村民に、再度配布できないか

〈栃原議員〉

- ・そば作付け振興、補助内容の見直しを

〈今村輝宏議員〉

- ・新型コロナウイルス感染拡大で売り上げ激減、村内事業者に対して村独自の支援策を
- ・観光案内板の充実を
- ・砂防堰堤、適時適切な土砂撤去を

〈後藤議員〉

- ・野焼き全面再開、やる気はあるのか
- ・有害獣、役場内に駆除班を設置しては

ここが聞きたい

ずばり村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

笠野 真喜議員

酒米をブランド化する考えは

笠野議員

震災から4年、村の復旧・復興も令和2年度にはインフラ整備も進んだが、農業に関しては4年間農作業に従事出来ずに高齢化が進んでいる地区もある。

遊休農地を減らし、優良農地を残す事が課題だ。

①農業後継者のいない高齢熟知農業者と新規就農者・新規参入法人との共同経営に支援を行ってはどうか。農業を守る行動をしなければ、農地は荒廃の一途を辿る。高齢熟知農業者が抱える農業後継者がいない問題と、新規就農者が抱える経営の難しさ・離農者が多いという問題を併せて解決することが出来る。

②有機農業の聖地を目指し、『水の生まれる村』とPRしている本村に酒米(山田錦)の栽培を増やし、ブランド化に取り組む考えはないか。

③人・農地プランの集計が行われているが、10年後の担い手をどのように育成するのか。

どれだけ支援できるか精査したい

村長

①農業を長く担い、後継者がいない農家と新たに農業を始めたいという人たちとをマッチングさせるといい提案だ。農地とか農業施設だけではなく、大事な技術や知識を知らない新規就農者に引継いで

いくということは、非常に有効かつ合理的だ。このような制度はないので今後どうやって対応できるか調査したい。

②本村における酒米作りは現在16名20haで栽培され、熱い思いの賜物である。



品質の高いものを作っていくことはたやすいことではない。生産者と相談しながら酒米のブランド化にどれだけの支援ができるか精査したい。

村内酒米で商品化された
左 純米酒「山」
右 本格米焼酎「南阿蘇」

③10年後の担い手不足は、今以上に深刻な問題になると考えている。新規就農者を育成していくことが集落の活性化のためにも重要な施策と考える。今後は経営能力に優れ、自分自身の目標をしっかりと持てるような就農者を増やしていく。講演会、研修会、勉強会など行い、担い手が育つよう努める。将来、地域のリーダーとなるような優秀な担い手を増やすことにしっかり取り組む。

太田 吉浩議員



環境の開発と保全、 どちらが村益に叶うのか

太田議員

本村の再生可能エネルギーは、太陽光だけでなく、小水力や地熱といった多様なポテンシャルがあり、震災前から民間企業体が開発を進めてきた。特に地熱開発は、村が計画段階から大きく関わってきた。一方、村は阿蘇郡市の各自治体と共に、世界文化遺産登録も目指している。地の利を活かした環境開発と、近隣自治体と足並みを揃えた環境保全。村長は、どちらが村益に叶うと考えているのか。

共存共栄は可能

村長

本村では、秩序ある地熱資源活用と保全、自然環境との調和を図りながら、地域の産業振興と雇用創出を目的に地熱条例を制定している。阿蘇地域の世界文化遺産登録と再生可能エネルギーの推進は、どちらも重要で共存共栄は可能だ。

太田議員

私はいずれ、片方が譲らねばならない事態が来ると考えている。その時も共存共栄できる判断・企業支援を期待したい。



熱源となる蒸気の噴気試験

新型コロナウイルス、 村独自で経済政策の考えは

太田議員

新型コロナウイルスが猛威を振るい、国内外で感染が拡大している。

①村長は、村民への情報発信を各課にどのように指示したのか。

また、学校現場は、国からの通達で臨時休校になった。この間の課題は、子ども達が安全かつ楽しく過ごせる環境の整備だ。

②現在の学童体制で、子ども達の安全は確保できるのか。休校が長引く事で、学力や体力面で不安を感じている子ども達や保護者にどう対応するのか。

また、全国的な自粛ムードによる経済活動の停滞で、村内経済の落ち込みが大変懸念される。

③国や県の対策だけでなく、村独自で、柔軟な経済政策を打ち出す考えはあるのか。

現時点での対策は未定

村長

①防災無線での周知、広報誌や村HPでの感染予防啓発に取り組んでいる。今後も県に相談しながら対応していく。イベント開催も県と同様に、不特定多数の参加が見込まれる屋内行事は延期・中止で対応。

教育長

②学童職員が足りない場合は、学校の先生を応援に行かせるが、現在の学童利用は3分の1から半分程度だ。学習面は学校から課題を出し、自宅学習するよう指導し、先生方に家庭訪問や電話で、子ども達とコンタクトを取るよう要請した。体力面はまず感染予防に徹し、家に閉じこもらず、時には外で軽い運動をするよう指導していく。

村長

③村内経済が非常に落ち込んでいると聞いている。現時点での対策は、まだ決めていない。今後の状況を見ながら、議会にも相談し、できる限りの支援を行いたい。



橋本 功議員

被災地区の固定資産税、 軽減措置は出来ないか

橋本議員

- ①村長は議会のチェック機能にどのような認識を持っているのか。
- ②村長は住宅確保や事業継続支援の観点から検討すると発言されている。被災地区の固定資産税の軽減措置はできないか。
- ③昨年12月の一般質問において、役場駐車場の有料化を提案したが、職員が公務専念を図るには無償のままが良いとの答弁だった。予算の削減や手数料の値上げは4月から実施される。財政改革として、この矛盾する理由は。
- ④学校敷地内の駐車場有料化は財政難を理由に導入する自治体が増えてきているようだが、有料化は人事異動にどのような影響を及ぼすのか。

特別に軽減措置を行うことは不可能

村 長

- ①議会には住民の代表として執行機関の提案を審査して議決するという重要な機能があると認識している。
- ②熊本地震で被災した地区は、国県の通達で本村の課税条例によって適正に行っている。固定資産税は村の税収全体の53.8%を占めている。地方交付税を算定する際に基準財政収入額が減少するので交付税も減額されるため、村の一般財源確保に重大な影響を与える。一定の地区だけ特別に軽減措置を行うことは不可能である。
- ③職員から駐車場料金を徴収しなければならない特別な事情は見当たらない。各種の手数料や使用料の改正は、近隣町村の水準とも見比べながら適正な処理を行った。

教育長

- ④県教職員の人事は、県教育委員会が学校教育の充実振興を図るために方針を決めて実施している。職員駐車場有料化が本村への異動希望に影響を及ぼすかというアンケートでは、25人中20人が異動希望に影響するという回答だった。

4年目で公約の実現が出来るのか

橋本議員

- ①3年前、創造的復興村づくりを重点施策に掲げられた公約の達成率は。また、4年間で公約すべて実現が可能か。
- ②来年2月に村長選挙が予定されている。村長はどのような目標を村民に示すのか。決意を聞きたい。

残された時間しっかり汗を流す

村 長

- ①3つの政策「環境」「活力」「暮らし」を柱に誰もが住み続けたい村を目指して、数々の施策や復旧復興に取り組んできた。まだ十分に村民の付託に応えられていない認識は持っている。公約実現に向け、残された時間にしっかり汗を流す覚悟だ。
- ②問題は復旧・復興だけではない。以前から残っている案件も解決したい。選挙に立候補するには、様々な要件が整わなくてはならないので、9月議会には決断したい。

今村 竜喜議員



南阿蘇観光PRの取り組みは

今村議員

JR九州は熊本地震で被災した豊肥線の不通区間（肥後大津～阿蘇27.3km）は、今秋運行再開を目指している。阿蘇が再び注目され、増加する観光客に対し受入れ準備をしたいと期待している。

東京在住者を対象とした調査結果で阿蘇観光のイメージは1位「阿蘇山」、2位「ない」との回答、食については「ない」「わからない」が8割を占めていた。阿蘇カルデラスーパーマラソンも来年6月に復興イベントとして再開される見込みであり、全国からエントリーされて来る。

各インフラ整備が順次整いつつある中、県は復旧を目前に控えた8月に「阿蘇大復活祭」と銘打った観光キャンペーンを実施する予定である。村はどのような提案をしているのか。



復旧が進む豊肥線

名称を含め県・関係団体で検討中

産業観光課長

現状として既存のイベントに加え、阿蘇立野ダムや阿蘇大橋の工事現場を巡るインフラナイトツアーの開催などを予定している。大橋の袂に新しく展望所・黒川地区の震災遺構・東海大学の震災ミュージアム整備など、創造的復興に資する計画も県や国とともに進めている。

県に対し新阿蘇大橋のライトアップ、立野峡谷でのプロジェクションマッピング、大花火大会など提案している。インフラ復旧のタイミングを逸することなく観光誘客の準備を怠りなく実施したい。

今村議員

震災で崩落した阿蘇大橋は「赤橋」と呼ばれていた。建設中の橋にサブネームを公募し、観光客・地域や地元にしみのあるものにしてはどうか。

今後、新阿蘇大橋展望広場や阿蘇パノラマテラス、数鹿流ヶ滝展望所など整備される予定であり、災害復旧により令和2年度末までに開通や完成になる。通行を遮断するイベントは不可能であり、独創的なPRの具体的な計画は。

新しい大橋のサブネーム公募 今後、県へ提案する

産業観光課長

開通前のイベントとして新しい阿蘇大橋での手つなぎ歓迎セレモニーというアイデアを出している。1回限りとなるが人数的にギネス記録に挑戦できるか県に提案中である。

また、新しい橋のサブネーム公募は今後、県に提案し広く阿蘇郡市町村へ呼びかけていきたい。

フォトスポット整備は、観光局を中心に活動している地域おこし協力隊5名に依頼し、SNS*でよく使われる“映える”、魅力あるスポットの拾い出し、マップ制作を依頼している。



公募を提案したい工事中の新阿蘇大橋（仮称）

※SNSとはソーシャルネットワークサービスの略



白水地区統合小学校の進捗は？

平成30年3月7日、南阿蘇村立小中学校適正規模審議会より「2022年度までに3小学校の再編を白水小学校に配置すること」が第2次答申として教育長に提出された。これを受け、3月15日に教育委員会が開催され、答申を支持・尊重することで一致。翌日に村長へ進達がなされた。議会からは前倒しで統合を進めるように要望も出ていた中、9月定例会（合同常任委員会）で村長より2021年4月開校の表明がなされた。

そこで今回は、統合準備への進捗をレポートする。

白水小学校統合に伴う経緯

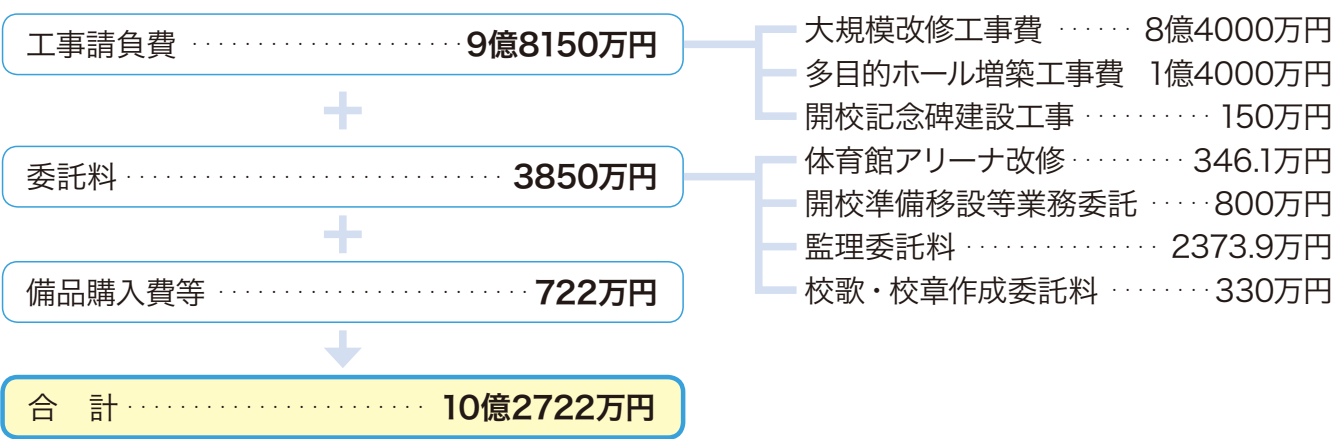
平成30年度

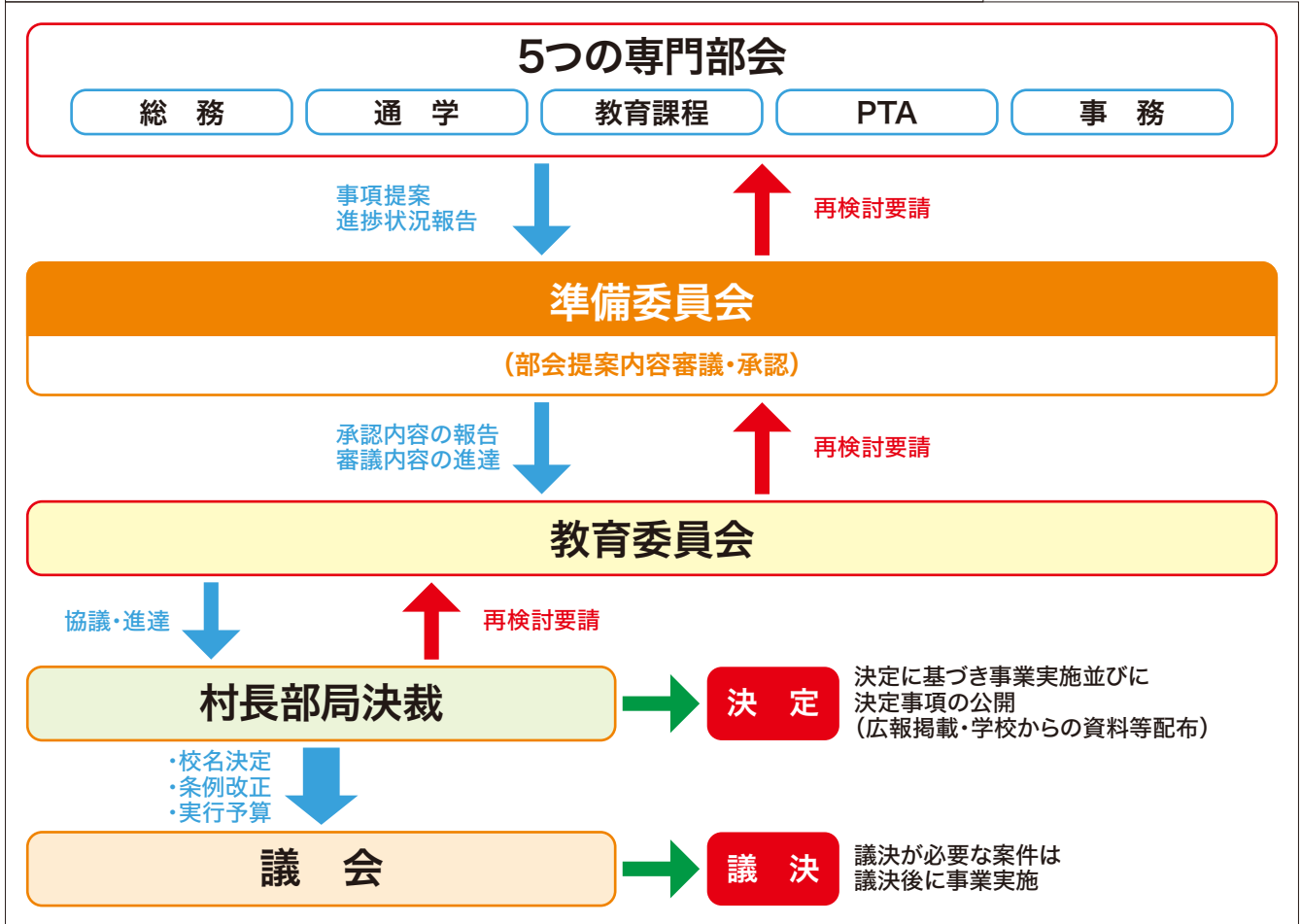
- 9月13日：定例会（合同常任委員会）→ 2021年4月開校を村長が表明
- 9月18日：教育委員会 → 南阿蘇村立『白水統合小学校開校準備委員会』を設置（以下「準備委員会」）
- 11月26日：第1回準備委員会 → 委員より現地視察の要望が出る
- 12月27日：第2回準備委員会 → 白水小学校及び旧白水中学校の建物現地視察を実施
旧白水中学校を改修すべきと意見がまとまる
- 2月12日：議会（全員協議会） → 村長より旧白水中学校に新校を配置することを表明

平成31年度・令和元年度

- 4月16日：第1回総務部会 → 校名募集を3小学校区の全世帯及び3小学校の教職員を対象とすることを決定 5月13日～6月20日に（校名募集）を実施
- 7月 1日：第2回総務部会 → 応募された提案理由を鑑み、学校名に「白水」と「はくすい」を選出
- 7月12日：教育委員会（工事関係） → 白水統合小学校大規模改修工事設計業務委託を契約
- 7月25日：第1回準備委員会 → 校名について協議を実施し、「白水小学校」を選定
- 8月 9日：教育委員会 → 新小学校名「白水小学校」を承認
- 8月21日：教育長並びに準備委員長 → 村長へ校名について提言
- 9月13日：定例会 → 校名を「南阿蘇村立白水小学校」と決定
- 12月16日：教育委員会 → 白水統合小学校大規模改修工事設計業務委託の契約変更（進入路拡幅分）
- 2月28日：教育委員会 → 設計業務委託完了

3月6日～13日：定例会【令和2年度当初予算額】（関連記事はP2、3、5）





部会	事務事項	部会員
総務部会	1 学校の名称等に関すること (学校の名称、校歌、校訓、制服等) 2 新しい学校像にすること 3 式典行事に関すること 4 統合学校への移転計画に関すること 5 その他、総務部会に属する事項	学校教育指導員 校長代表 各学校PTA会長 地域住民代表(区長会) 村総務課長 事務局職員、その他関係部会員
通学部会	1 通学体制に関すること (通学路、通学の方法、安全対策、スクールバスの運行計画等) 2 その他、通学部会に属する事項	校長代表、各小学校(安全教育担当教諭)、各学校PTA代表、事務局職員、その他関係部会員
教育課程部会	1 教育課程等教育内容に関すること 2 学校の校則等に関すること 3 儀式的行事に関すること 4 児童生徒交流事業に関すること 5 学校行事に関すること 6 児童会に関すること 7 学校評価委員会に関すること 8 その他、教育課程部会に属する事項	学校教育指導員 校長代表 各学校教務主任 事務局職員 その他関係部会員
PTA部会	1 PTAの組織運営に関すること (組織編制、規約の起案、役員の選出方法、運営計画の立案) 2 その他、PTA部会に属する事項	校長代表、各学校教頭 各学校PTA代表 事務職員、その他関係部会員
事務部会	1 設備及び備品の移転・廃棄に関すること (学校備品、教材備品、学校図書、文書等) 2 移転準備に関すること 3 予算計画に関すること 4 校印、職印、表札等に関すること 5 その他、事務部会に属する事項	学校事務職員 事務局職員 その他関係部会員

追跡レポート

村のがまだしモン^{No.19}

本村で活動している
「※地域おこし協力隊」のメンバーをご紹介します。

※人口減や高齢化が進む地方で、都市部の人材の定住・定着を促し活性化を図る目的で、2009年度に創設。任期は最長3年で、年間の報酬と活動経費は、国から支給される。



はま さき ゆう じ
浜崎 雄治さん

ホアン ヤ ティン
黄雅婷さん



自己紹介をお願いします。

熊本市から来ました。
結婚式場や懐石料理店で料理の仕事、その他ケーブルテレビ会社に13年勤務、また料理の仕事がしたく10年ほど前に戻って来ました。

台湾から来ました。
大学院で観光管理を勉強し、華語ツアーコンダクター、華語ガイド試験、地震博物館のガイド試験に合格。東京の観光バス会社で働いていました。

南阿蘇村地域おこし協力隊に応募された理由は。

以前から南阿蘇に住みたいとの思いがあり、地域おこし協力隊の募集を見つけました。業務内容も食の商品開発プロジェクトで、料理の経験を生かせると思い応募しました。

ある日、南阿蘇村地域おこし協力隊インバウンド対策プロジェクト業務の募集を見つけ、私の専門と興味があり応募しました。

仕事内容を教えてください。

主に白水温泉瑠璃の業務補助と、南阿蘇村の特産品を使ったメニュー考案をしています。

インバウンド対策プロジェクト業務の仕事をしています。外国人の目線から独特な文化・自然体験活動を作り、村民の知恵を借り、やさしく、住みやすい観光環境にしたいと思います。

南阿蘇村の住み心地はどうか、活動を通じて、どのような村にしたいですか。

昔から南阿蘇村の景色がよくてドライブに来ていました。その景色が毎日見られて楽しくて仕方ありません。四季がはっきり感じられるのが魅力の一つです。医療・交通の部分にやや不安を抱えていますが、住み続けるには日常生活に直結する問題解決が必要だと思います。

南阿蘇の住み心地はエクセレントだと思います。毎日この綺麗な景色と一緒に生活できて、最高です。旅行は体験型が主流になりました。村民と交流し、行きたい・住みたい環境を構築したいと思います。

取材者 **笠野 眞喜** 委員

編集後記

震災から4年が過ぎました。今年の夏にはJR豊肥線が全線復旧し、秋には国道57号現道、そして、来年春には「新阿蘇大橋」の開通と明るいニュースもありますが、新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るっています。村民の皆さまも予防には最善を尽くしていただきたいです。また、農家の皆さまは田植えの時期を迎え、忙しい毎日を送られていることでしょう。休むときはしっかりと休み、免疫力が落ちないようにご注意ください。

丸野 健一郎

議会広報特別委員会

委員長 丸野健一郎
副委員長 太田 吉浩
委員 笠野 眞喜
〃 今村 竜喜
〃 栃原 辰郎
〃 今村 輝宏

発行責任者

議長 荒牧 俊一